

2021年7月12日発行

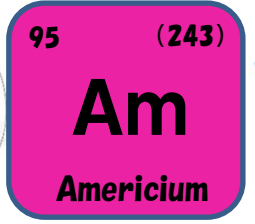
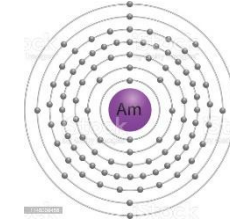
SSHだより

7月号

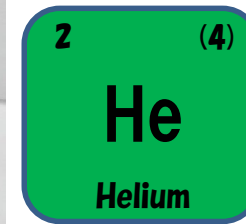


今月の科学

～アメリシウム～



皆さんはアメリシウム(Am)と呼ばれる元素をご存じですか？これはジーボーグ、ジェームズらによって発見されました。アメリカ大陸で発見されたことからアメリシウムと名付けられたそうです。放射性物質で毒性が強いため取り扱いが難しく、使われる機会が少ないです。有害物質を発見する蛍光 X 線分析装置や煙感知器に使われています。後者は Am が出す α 線を利用する仕組みです。とても画期的ですが、たとえ微量であっても危険性があるので、日本では使用が禁止され、アメリカで使われています。Am は使い方によって多くの人命を助けるありがたい存在なのです。



～ヘリウム～

ヘリウム(He)について紹介します。周期表では水素に続いて2つ目に登場し、皆さんにとっても聞き馴染みのある元素だと思います。ヘリウムは、1868年にインドで皆既月食を観測していた、イギリスの天文学者ノーマン・ロッキヤーによって太陽光の中から発見されました。水素と違い爆発する危険性がないので、気球や飛行船に用いられています。

ところで皆さん、ヘリウムガスを吸うと声が高くなることは有名ですがそれが何故か知っていますか。その理由は、音の速度が速くなるために高い周波数で音声共鳴するからです。このように、ヘリウムによって起きる面白い現象は他にもあるので、ぜひ探してみてください。

参考文献

- ・ 齋藤勝裕、マンガでわかる元素 118、サイエンス・アイ新書、発行 2011 年 12 月 25 日
- ・ Wikipedia、アメリシウム、
- ・ ヘリウムガスを吸うと声が高くなる本当の理由 | 理系のための備忘録



オンライン配信 7月28日(水)

文型 29 班「空き家事業の未来を考える」

文型 30 班「絵本の変遷とこれから」

理型 09 班「ソレノイドエンジンにおける回転トルク特性の研究」

理型 47 班「ミナミメダカの性転換に対する緑色光条件の影響」

理型 51 班「災害時における自立移動型ロボットの被災者救助の可能性」



多数の質問をお待ちしています！！

# 本の紹介

この本は、元素についてフルカラーのマンガで書かれています。マンガにザッと目を通すと、その元素の発見者、発見した年、発見のいきさつなどがおもしろく、分かりやすく書いてあり、科学がとても身近なものに感じられます。この本を読んで、元素マスターになろう☆  
この本含め科学にまつわるたくさんの本が、化学準備室前に置いてあります。  
ぜひ立ち寄ってみてください！

